令和３年度事業計画

一般社団法人大郷町シルバー人材センター
理　事　長　　金　須　　研

Ⅰ　基本方針

我が国は超高齢・人口減少社会を迎え、生産年齢人口の減少により労働不足の傾向が見られる中、一昨年は台風災害となり、昨年は新型コロナ感染症により事業内容は計画と大きく乖離した内容での事業遂行となりました。公共、個人の請負作業についてはほぼ前年並みを維持したものの、会社関係の請負、派遣作業については大きく落ち込んだ実績となりました。大郷町は総人口は約８，０００人弱と昭和３０年の１３，１４０人をピークに減少傾向に入るとともに、高齢化率も年々上昇し６５歳以上が約３７％となり２．７人に１人が６５歳以上となっており、高齢者の就労機会の確保が大きな課題となっています。

この現状を踏まえ当シルバー人材センターとしては働く意欲と能力のある全ての高齢者が年齢にかかわりなく活躍し続けることが出来る「生涯現役社会」の実現を図るために、多くの高齢者に対して就業機会を確保・提供することにより、あわせて本町の労働力不足の一助になればと思っております。

当センターは令和３年２月で１０周年を迎えることができました。会員の高齢化や定年延長等による新入会員の伸び悩みに加え、請負契約金額全体では伸びているもののコロナ禍の中、会社関係の発注業務が縮小傾向にある等種々課題はありますが発注者、会員の満足度向上を目指し更には地域住民の負託に応えられるようシルバー人材センター発展の節目の年にしたいと考えております。

つきましては、毎月、入会説明会を開催し会員の増強に努めるとともに、町、地域住民、町内企業等のニーズに的確に応えていく体制の再構築を図るため、発注者・会員へのアンケート結果を踏まえながら、会員・役員・事務局全員が営業マンとなり就業機会の確保並びに会員増強に向けた声がけをする等センターの基本理念であります「自主、自立、共働、共助」の精神の下、意識改革の初年度として取り組んでまいります。

また、会員相互の親睦と信頼の絆をはかることを目的とした地域班・女性部会の活性化をはかるとともに安全で適正な就業が出来るよう、講習会・安全委員会を開催し事業遂行に取り組んでまいります。

Ⅱ　事業目標

令和３年度事業推進に当たり、下記のとおり設定し推進する。

（請負・派遣）

項　目	令和２年度	令和３年度	前年比
会員数	130 名	132 名	101.5%
受注件数	510 件	560 件	109.8%
契約金額	40,000 千円	38,000 千円	95%
就業延人数	7,800 人日	5,700 人日	73%
就業率	80%	80%	100%

Ⅲ　実施事業

１　安全適正就業対策事業

「安全はすべてに優先する」を基本とし、『見えない危険・目配り・気配り・たゆまぬ努力が身を守る』の令和３年度安全標語のように、事故がなく安全に業務を遂行することは、シルバー人材センターにとって、最も重要な課題である。会員は、高齢者であることを自覚し、事故の未然防止のため、就業上の安全保持、健康管理、交通事故の防止等の意識高揚に努める。

ついては、安全適正就業委員会が中心となり、講習会・推進大会を実施するとともに、会員の就業状況を確認するため安全パトロールを実施し、適正な就業の　徹底を図るなど会員と役職員が一体となり事故防止に努める。

(1)　安全パトロールの実施（年１１回）
(2)　安全適正就業講習会（５月・８月）
(3)　安全運転講習会（１１月・２月）
(4)　安全推進大会の開催（１月）
(5)　安全適正就業委員会の開催
(6)　事故情報の収集・分析、再発防止等の検討及びそれらの情報提供
(7)　適正就業の徹底（適正就業ガイドラインの遵守）

２　会員の加入促進

業務拡大を図る上から、健康で働く意欲と能力を有する高年齢者の加入促進をはかる必要がある。そのために、従来のＰＲ用チラシ、大郷町防災行政無線による入会説明会開催の放送に加え、役職員と会員が一体となり声掛けを中心とした加入運動を展開して会員確保に努め、発注者の期待に応えられる就業体制を構築する。又、会員作品展等をとおして女性部活動を活発化し、就業のみならず、生きがい作りとしてのシルバーの魅力を発信する。

なお、令和３年度末における会員目標数は１３２人とする。

３　就業機会の確保と提供

センター事業の円滑な発展を目指すため、大郷町の協力を得て広報誌への掲載やチラシ、パンフレットを町内全戸に配布しセンターの業務内容を周知する。

請負、派遣取扱いにより民間事業所、公共団体等に積極的に出向き受注拡大を図り、会員に多くの就業機会を提供することに努める。

４　福祉・家事援助事業

地域住民の福祉ニーズに応えられるよう、福祉家事援助サービスに対応できる会員の加入促進と女性会員の就業機会の拡大を図る。

(1)　幼児、児童の一時預り業務を実施する

(2)　大郷町地域支え合い推進協議体に参加しニーズに即した事業を検討する。

(3)　ワンコイン事業を検討する。

５　関係諸機関との連携強化

シルバー人材センターの運営は、関係機関や関係団体との連携と協力体制が重要であり、全国シルバー人材センター事業協会並びに宮城県シルバー人材センター連合会の指導を受け、大郷町をはじめ各種団体との連携を密にし、情報収集を図りながらセンター運営に万全を期し、以て就業機会の拡大を図る。

６　調査研究事業

第２次中期５ヵ年計画の確実な実行と創立１０周年を迎えたことから記念事業の検討に入る。

(1)　創立１０周年記念事業準備委員会の開催

(2)　県内外のシルバー人材センターへの視察研修

７　講習会、研修会の実施

高年齢者の安全と技術・技能向上を目的とした研修や技能講習会を実施し、積極的な受講・参加を促し、発注者の期待に応えられる技術の向上に努める。また、役職員の研修を実施し組織の充実を図る。

８　社会活動の実施

地域社会への貢献と会員同志の連携強化を図るため、大郷町と連絡を密にして、清掃作業や街頭指導等の社会奉仕活動を積極的に実施する。

9　信頼されるセンターの構築

発注者との信頼関係を保持・進展させるため、役職員、会員とも信頼されるセンターを目指して次の事を励行する。

(1)　シルバー人材センター会員であることに誇りを持ち、言葉遣いや行動（マナー）に十分配慮するとともに挨拶や礼儀はきちんと行うこと。

(2)　就業中は、与えられた休息・休憩時間以内に心身を癒し、仕事は一生懸命に行うこと。

(3)　就業は常に発注者の立場になって行うこと。

(4)　コンプライアンス研修会の開催